

■相沢忠洋 民間考古学者。無学歴ながら、日本初の旧石器文化遺跡の発見者となるも、アカデミズムに翻弄される。

あいざわただひろ

円本時代始・1926＝ 東京府荏原郡羽田村で旅芸人一族の長男に生まれる。

満州事変・・1931＝ 5歳：

国際連盟脱退1933＝ 7歳：一家をあげて鎌倉の浄明寺に移住、**石斧や矢尻に心ひかれ、拾って集めるようになる。**

帝人疑獄事件1934＝ 8歳：父が歌舞伎の巡業団について遠方に出かけ不在になり、

芥川直木賞始1935＝ **9歳**：仕送りも途絶える。妹が風邪がもとで死去。父母が離婚し、3人の妹弟は父に連れられてしまい、自分は阪東札所一番の杉本寺に預けられ、孤独を味わう。

**日中戦争始**・1937＝11歳：父の仕事の関係で、群馬桐生市に転居ののち、浅草のはきもの屋に奉公に出された。

健保+総動員 1938＝12歳：旦那の計らいで、浅草の東京市正徳尋常夜学校の夜間4年に入学。

**日米開戦**・・1941＝15歳：

・・・・・・1942＝16歳：**上野の皇室博物館へ行き、石器などを見ていて、守衛・数野甚造に声をかけられ、色々と教えて貰うようになる。夜学を卒業し、富士青年学校に入学。**

創価学会検挙1943＝17歳：旦那先生の勧めで、桐生に戻り、北青年学校に編入、海軍志願兵に応募して、

年金+総武装 1944＝**18歳**：横須賀武山海兵団の二等駆逐艦(葛)配属となり、水兵長に任官。母と思わぬ再会。

**敗戦**・・・1945＝19歳：呉港に向けて出撃し、山口県柳井市で広島投下の原爆キノコ雲を見る。敗戦後、桐生に復員する。

新憲法公布・1946＝20歳：上京して鎌倉を訪ね、再び母と会うが、以後も別居。失意の中、小間物商を始める一方、**\*群馬県新田郡笠懸村の切通しの関東ローム層中に石剥片を発見(岩宿遺跡)、以後発掘に熱中、採取した品々を東京の考古学研究所に報告し、調査を受けるとともに、**

新憲法施行・1947＝21歳：**東毛考古学研究所を設立して本格的に取り組み、また、小間物を東京で外交販売することになったのを幸い、直接学者を訪ねて教えを乞う。**

樞東裁判判決・1948＝22歳：不二山遺跡(勢多郡新里村)発見。

三大事件・・1949＝23歳：**岩宿遺跡で槍先形尖頭器を発見。岩宿遺跡を明治大学と東毛考古学研究所の合同で発掘、杉原助教がハンドアックスを発掘して、発見が立証され、それまで日本に無いとされていた旧石器文化の遺物の発見者となった。日本で初めての旧石器文化の学術調査(岩宿遺跡の第一次発掘調査)が行われる。**

**朝鮮戦争始**・1950＝24歳：群馬県伊勢崎市権現山遺跡発見調査。明治大学による岩宿遺跡第二次発掘調査に参加。**\*[考古学の友]に「赤城山麓文化のあけぼの」を発表し、**

榊形遺跡(勢多郡宮城村)発掘調査。

**独立回復**・・1951＝25歳：

TV放送始・・1953＝**27歳**：

自衛隊発足・1954＝28歳：矢出川遺跡発掘調査に参加。由井茂也を知る。

**55年体制始**・1955＝29歳：三浦きみと結婚。

国連加盟・・1956＝30歳：日本第四紀学会員となる。「北関東赤城山麓におけるマイクロコアの発見」。**海外の考古学雑誌にも紹介。**

なべ底不況・1957＝31歳：赤城山麓の旧石器遺跡「**赤城山麓における関東ローム層中諸石器文化層の位置について**」、

イヌクワマン・1958＝32歳：西鹿田遺跡(新田郡笠懸村)発掘調査。

美智子妃・・1959＝33歳：フォトアート創刊10周年記念号に土門拳を岩宿遺跡に撮影案内。

**安保闘争**・・1960＝34歳：

タイタイ病始・1961＝35歳：岩宿遺跡発見により**群馬県功労賞を受賞。その直後、父が死去。**

全国総合計画1962＝**36歳**：

TV宇宙中継始1963＝37歳：日本人類学会会員となる。

**東京オリンピック** 1964＝38歳：突然、母が危篤との電報を受け、鴨川に急行したが、再会を果たした直後に死去。

いざなぎ景気1966＝40歳：**雑誌[国民百科]に「岩宿への道」を連載。**

美濃部都知事1967＝41歳：**\*岩宿遺跡発見の功績により第一回吉川英治文化賞受賞。**

**全共闘ピーク**・1969＝43歳：**「岩宿の発見」を刊行。**

**大阪万博**・・1970＝44歳：磯遺跡(佐波郡赤堀村)発掘調査。

**ドラゴンクエスト**・・1971＝**45歳**：廃バスを利用して、夏井戸遺跡に「**赤城人類文化研究所**」を設立。

**日中国交回復**1972＝46歳：国立宇都宮大学で集中講義。夏井戸遺跡発掘調査。

**石油ショック**1973＝47歳：妻が胃ガンで死去。

角栄金脈辞任1974＝48歳：日本考古学協会会員となる。

クアンパール事件1975＝49歳：過労がもとで三ヶ月間入院する。夏井戸遺跡資料収蔵庫完成。

田中角栄逮捕1976＝50歳：群馬県文化財保護審議委員となる。

JALハイジャック・1977＝51歳：群馬大学名誉教授七条小次郎の媒酌で再婚。

成田衝突・・1978＝52歳：共著「地下に歴史を掘るー日本の考古学100年」を朝日新聞社より出版。

**貿易摩擦問題**1980＝**54歳**：佼成出版より「赤土への執念」発刊。

・・・・・・1981＝55歳：宮城県座散乱木遺跡研究会に出席し、遺跡発見者・藤村新一とあう。

**中曽根内閣**・1982＝56歳：

テレビニューライン・1983＝57歳：桐生厚生病院に脳内出血のため、3度目の入院、**以後病院暮らしとなり、**

ジャンボ機墜落1985＝59歳：第20回全国史跡整備市町村協議会より全国表彰される。

リクルート事件・1988＝62歳：関矢晃と共著「赤城山麓の旧石器」講談社より発刊される。

昭和天皇没・1989＝**63歳**：脳内出血の再発により**没した。**

没後、勲五等瑞宝章が贈られ、笠懸村より名誉村民第一号の称号贈られる。